

CHANGE PURSE

Patent Number: JP2002159315
Publication date: 2002-06-04
Inventor(s): KOJIMA NOBUO
Applicant(s): CONCISE:KK
Requested Patent: ☐ JP2002159315
Application Number: JP20000357237 20001124
Priority Number(s):
IPC Classification: A45C1/02
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a change purse with which the kind and the number of coins stored in its pocket are easily recognized and coins are easily taken out when they are necessary.

SOLUTION: A cover 2 is fixed and unified with the change purse body 1 and it can be freely opened and closed. Inside the body 1, a transparent pocket 3 is fixed to store coins 6. A coin receiving part 7 having a roughly U shape is fixed along the outer border inside the cover 2. A gutter 8 having an inward opening is fixed between the coin receiving part 7 and the cover 2 to receive and hold coins 6 falling from the transparent pocket 3 when the opening 9 of the transparent pocket 3 is directed downward while the cover is open.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

<http://12.espacenet.com/espacenet/abstract?CY=ep&LG=en&PNP=JP2002159315&PN=JP200215...> 11/6/2003

(18) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-159315

(P2002-159315A)

(43) 公開日 平成14年6月4日 (2002.6.4)

(51) Int. Cl.
A 4 5 C 1/02

識別記号

P I
A 4 5 C 1/02フィート (参考)
B

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全4頁)

(21) 出願番号 特願2000-357237(P2000-357237)

(22) 出願日 平成12年11月24日 (2000.11.24)

(71) 出願人 000130363

株式会社コンサイズ

東京都江戸川区平井2丁目16番23号

(72) 発明者 小島 信雄

東京都江戸川区平井2丁目16番23号

(74) 代理人 100060896

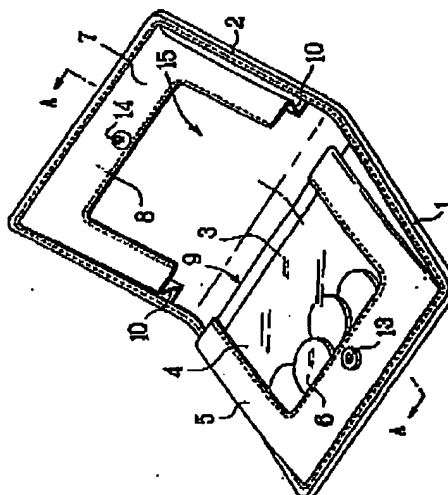
弁理士 杉山 泰三

(54) 【発明の名称】 小銭入れ

(57) 【要約】

【課題】 ポケットの中に収納されている硬貨の種類や数を容易に確認することができ、かつ、必要な硬貨の取り出しも容易な小銭入れを提供する。

【解決手段】 被せ蓋2を開閉自在に一連に設けた小銭入れ本体1の内面部に硬貨6を収納可能な透明ポケット3を設けるとともに、被せ蓋2の内面部の周辺部に沿って略コ字状の硬貨受止部材7を取付けて、その硬貨受止部材7と被せ蓋2との間に内方へ向って開口して、被せ蓋2を開いた状態で透明ポケット3の開口9を下向きとしたときに透明ポケット3から脱出して滑り落ちる硬貨6を挿入させて受け止め保持する溝部8を設けたことを特徴とする。



(2) 002-159315 (P2002-15TJL8)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 被せ蓋2を開閉自在に一連に設けた小銭入れ本体1の内面部に硬貨6を収納可能な透明ポケット3を設けるとともに、被せ蓋2の内面部の周辺部に沿って略コ字状の硬貨受止部材7を取付けて、その硬貨受止部材7と被せ蓋2との間に内方へ向って開口して、被せ蓋2を開いた状態で透明ポケット3の開口9を下向きとしたときに透明ポケット3から脱出して滑り落ちる硬貨6を挿入させて受け止め保持する溝部8を設けたことを特徴とする小銭入れ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は主に硬貨を収納する小銭入れに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、被せ蓋を開閉自在に一連に設けた小銭入れ本体の内面部に硬貨を収納可能なポケットを設けて成る小銭入れが公知であるが、ポケットの中に収納されている硬貨の種類や数を確認しにくいという不満があり、又、ポケットの中に指を差し入れて硬貨を掴む必要があるため硬貨を取り出しにくいという不満もある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 そこで本発明は、ポケットの中に収納されている硬貨の種類や数を容易に確認することができ、かつ、必要な硬貨の取り出しも容易な小銭入れの提供を課題とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するために、本発明の小銭入れは、被せ蓋2を開閉自在に一連に設けた小銭入れ本体1の内面部に硬貨6を収納可能な透明ポケット3を設けるとともに、被せ蓋2の内面部の周辺部に沿って略コ字状の硬貨受止部材7を取付けて、その硬貨受止部材7と被せ蓋2との間に内方へ向って開口して、被せ蓋2を開いた状態で透明ポケット3の開口9を下向きとしたときに透明ポケット3から脱出して滑り落ちる硬貨6を挿入させて受け止め保持する溝部8を設けたことを特徴とする、という構成を具えるものである。

【0005】

【発明の実施の形態】 以下、図を用いて本発明の実施の形態について説明する。まず、小銭入れ本体1に対し被せ蓋2を開閉自在に一體的に連設している。すなわち、被せ蓋2は小銭入れ本体1に対し展開することも折り畳むことも可能である。この小銭入れ本体1と被せ蓋2の材料は自由であり、例えば一枚の皮革で形成することが可能である。

【0006】 小銭入れ本体1の内面部には、被せ蓋2に向かって開口した透明ポケット3を設けている。この透明ポケット3は内部を外部から透視できるポケットという意味で、必ずしも使用するポケット素材の全部が透明で

ある必要はなく、図に示すように、透明なプラスチックシート4と不透明な皮革等の枠状部材5とを組合せてポケットを形成することが可能である。この透明ポケット3は、内部に硬貨6を複数枚収納可能な大きさとする。

【0007】 被せ蓋2の内面部には、その周辺部に沿って、略コ字状を呈して中央部に大きな切欠開放部15を有する硬貨受止部材7を取付けて、その硬貨受止部材7と被せ蓋2との間に内向きに開口した溝部8を形成している。硬貨受止部材7の材料は自由であるが、小銭入れ本体1や被せ蓋2と同じ材料、例えば皮革製にすることができる。

【0008】 溝部8は、図3に示すように、被せ蓋2を開いて透明ポケット3の開口9が下向きとなるように被せ蓋2を透明ポケット3より下側に位置させたときに、透明ポケット3から脱出して滑り落ちる硬貨6を受け止めて落下しないように保持することができる。この溝部8は、硬貨6が挿入したときに、その硬貨6の端部が僅かに露出して、その硬貨6の端部を指先で容易に掴むことができる程度の深さにすることが好ましい。

【0009】 上記のように透明ポケット3から滑り落ちる硬貨6を溝部8でスムーズに受け止めるには、硬貨受止部材7が被せ蓋2の内面から少し浮き上がって溝部8が確実に開口した状態を維持することが好ましい。そこで、図1に示すように、硬貨受止部材7における両側の側辺部にそれぞれヒダ10を設けるとともに、図3に示すように、硬貨受止部材7の中央辺部の内側における溝部8の奥に硬貨プラスチックなどで成形した断面が略横向きV字状等のスペーサ11を設置することが好ましい。

【0010】 小銭入れ本体1の外面部には、図2に示すように、定期券、カード、複数枚の紙幣（折り畳んだ状態とする）等を収納可能なバックポケット12を設けることができる。

【0011】 また、小銭入れ本体1の内面部に設けた透明ポケット3を構成する枠状部材5と、被せ蓋2の内面部に取付けた硬貨受止部材7とは、図1に示すように、被せ蓋2を折り畳んで閉じた状態で互いに嵌着する雄雄のホック13、14を取付けることも可能である。

【0012】

【発明の効果】 本発明の小銭入れは上記の通りであり、まず、硬貨6を収納するのが透明ポケット3なので、硬貨の種類や数を外部から容易に確認できるという効果がある。また、被せ蓋2を開いて透明ポケット3の開口9を下向きにすれば、硬貨6が透明ポケット3から脱出して滑り落ち、その硬貨6は被せ蓋2の内面の周辺部に沿って取付けた硬貨受止部材7の溝部8によって受け止められ、その溝部8によって受け止められ保持された硬貨6は硬貨受止部材7の中央部に設けた切欠開放部15から指先で容易に掴み出すことができるが、その場合、硬貨6の種類ごとに選別すること、及び複数枚の硬貨6を

!(3) 002-159315 (P2002-15TJL8

一度に取り出すことが極めて容易であるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 被せ蓋を開いた状態の斜視図である。

【図2】 図1のA-A線位置における断面図である。

【図3】 硬貨を透明ポケットから硬貨受止部材の溝部へ移し替える状態を示す断面図である。

【符号の説明】

1 小銭入れ本体

2 被せ蓋

3 透明ポケット

4 透明プラスチックシート

5 枠状部材

6 硬貨

7 硬貨受止部材

8 溝部

9 開口

10 ヒダ

11 スペーサ

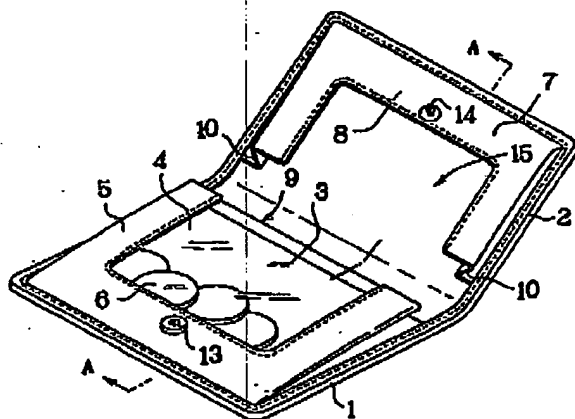
12 バックポケット

13 雌ホック

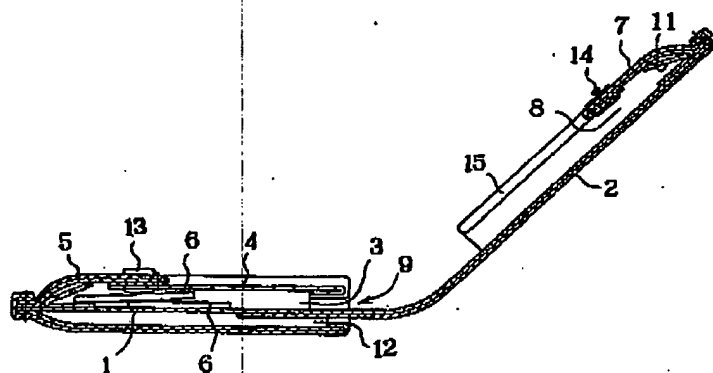
14 雄ホック

15 切欠開放部

【図1】



【図2】



:(4) 002-159315 (P2002-15TJL8

【图3】

